

第1章 国立大学等施設の現状と課題

大学キャンパスの創造的再生と施設設計（抜粋）（上野委員提出資料）

（上野委員提出資料）

大学キャンパスの創造的再生と施設設計



千葉大学・上野 武

4 July 2013

国立大学等施設の設計に関する検討会 第1回

Takeshi UENO, Campus Planning Office, Chiba University

1

キャンパスの創造的再生のための4つのデザイン

戦略
Strategy

- 大学の使命を踏まえた既存キャンパスの再評価

協働
Collaboration

- 学内外関係者との協働の仕組み

工程
Process

- 組織的・段階的に実現するためのプロセス

空間
Space

- キャンパスを特徴付ける空間デザイン

4 July 2013

国立大学等施設の設計に関する検討会 第1回

Takeshi UENO, Campus Planning Office, Chiba University

5

キャンパスづくりの目標

1. 教育研究の活性化

- 質の高い教育研究環境の確保(国際水準)
- パブリックスペースの充実

2. 地域・社会との共生

- 連携拠点の形成
- 景観の形成

3. サステイナブルキャンパスへの転換

4. 安全・安心なキャンパスの確保

なぜ、魅力ある施設設計がなされないか？

- 安全を確保するための耐震改修が最重要課題であった（耐震＝公共性）
- 私的空間（研究室、実験室等）への要望に応えることが第一であった
- 公的空間（共有スペース等）への、十分な配慮がなされてこなかった



公的空間はキャンパスの基盤（インフラ） キャンパスを都市（まち）のように計画

- 美しいキャンパス景観
- 交流・出会いの機会誘発
- 隠れたカリキュラム醸成の場
- 寄附への動機づけ
- 地域資産
- サステイナブル社会の理想的教材

大学施設整備の基本視点(案)

持続可能な大学施設の設計

1. キャンパスマスタープランとの整合
2. 公的空間(パブリックスペース)の充実
3. 可変性(フレキシビリティ)の確保
4. 環境配慮型建築への転換
5. 安全・安心への配慮

社会教材としての大学施設

4 July 2013

国立大学等施設の設計に関する検討会 第1回

Takeshi UENO, Campus Planning Office, Chiba University

9

海外参考事例



4 July 2013

国立大学等施設の設計に関する検討会 第1回

Takeshi UENO, Campus Planning Office, Chiba University

11



古い建物の中庭に大屋根を架けワークスペースを生み出す



古い建物に並行して吹抜を介した新棟を増築

右側が既存棟



建物1階部分を公的空間（学生の居場所）として開放



施設整備の流れと大学施設部課の役割（抜粋）（小山委員提出資料）

